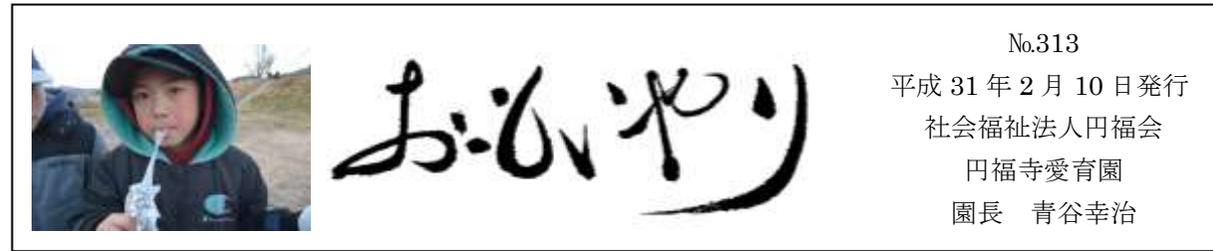


西横田区のどんど焼きに行ってきました。お餅を焼いて食べました。



りじちょうせんせい大すき

理事長 藤本光世

1月26日に、職員と子どもたちが叙勲祝賀会を開いてくれました。

そのときにそれぞれの子どもたちが小さな紙に書いたお祝いの言葉を貼った色紙をもらいました。何人もの子どもたちが「理事長先生のように立派な大人になりたい」と書いてくれました。子どもたちが愛育園の生活を通して立派な人になろうと努力している心が、一つ一つの言葉に表れていてどれも嬉しいものでした。その中に、上記の言葉を見つけました。



驚きました。小学校1年生のこの子は2ヶ月ほど前に入所したばかりです。接触も朝のお参りの時に顔を合わせる程度でした。お話をする機会もありませんでした。でも、私が子どもたちに何かをプレゼントした時にはいつも他の子に分からないように、そっと近寄ってきて、「ありがとうございます」と言うのでした。この子の心と育ちの良さを感じました。

この子は入所して学校へ行けるようになって、顔つきが明るくなり動きも素早くなって私は嬉しく見ていたのですが、その子が私をこのように見ていてくれたとは…。子どもの心の感受性に驚いたのです。

「大好き」な人と一緒に生活することは、それだけで幸せなことでは無いでしょうか。私は子どもたちの幸せに貢献することができて、目標としてもらっていることを嬉しく思いました。

子どもたちにお話をと言われて、勲章はみんなも努力すればもらえますよと話して、近所の方で勲章をもらった方とのお仕事を紹介し、その後で、子どもたちへの願いを込めて私の努力を三つ話しました。

1. 勉強を一生懸命やりましょう。

私が子どものころから勉強を頑張ったことを話しました。小学校でも、中学校でも、高校でも、大学でも、そして社会人になってからも勉強を一生懸命頑張りました。

2. 運命から逃げてはいけません。

お寺に生まれて、永平寺に修行に行くことの決断を話しました。富澤先生もお寺に生まれて總持寺で修行されたことも話しました。子どもたちが運命の中で愛育園に来て、愛育園で生活することから逃げてはいけませんと話しました。愛育園の生活に正面から取り組んで立派な人になってほしいという願いを込めて。

3. 言葉ではなくて行動することです。

後ろ姿で見せること。人は言葉では何とも言えます。そうではなくて自分でやること。人がどうでも自分でやること。行動すること。このことを強調しました。やらなければ何にもなりません。他人にお説教しても、そのことを逆に自分がやっていないければ反発を買うだけです。

祝賀会が子どもたちの今後に生きるように願いを込めました。

調理の先生には、総出で私が大好きな釜揚げうどんと天ぷらを作ってください、子どもたちと一緒に戴きました。誕生日メニューを久しぶりにいただいた思いがしました。美味しかったです。皆さんありがとう。

私の中学時代「反抗期」

園長 青谷幸治

私が中学生だったころ、父親から毎日のように「勉強しろ。勉強しろ」「勉強しないとろくな人間にならない」とよく言われたものです。父親は真面目で努力家です。子どものころから両親とともに家計を支え、自分で勉強し立派になってきました。だから私のダラダラとした生活が目につき、将来を暗示してのことだったと思います。しかし私は、言われるたびに嫌な態度を取り「うるさいな。今から勉強しようと思ったのに勉強しろと言われたから、やる気がなくなった」といつも父親のせいにして何もしない生活だったことを思い出します。しかし今思えば、反発しただけで、自分の将来や夢には結びつかず、何に対しても完全燃焼できていなかった後悔はあります。父親は私を心配して言い続けていたのでしょう。でも反抗期。父親に反抗できないときは影で口答えし、その分母

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

親に当たっていたことを覚えています。些細なことでも反発し、思い通りにならなければ態度を悪くする。本当に生意気がかっこ悪い中学生だったと思います。

大人になった今、愛育園の子どもたちを見て中学生は反抗期を迎え、反発できる先生には、とことん口を聞き、暴言を吐き、困らせています。時にはびっくりするような暴言を吐き、朝は起きない、学習をやらないなどわざわざやらない行動をとります。中学生の時の私と重なり同じだなと思いました。

先日、中学生の男子を集めて話をしました。「中学生になるとなぜか大人に反抗したくなるよね」「わかるよ」「僕も中学生の時にたくさん反抗して親を困らせたよ。」「反抗期は、大人になるための第一歩。反抗しながら大人に近づいていく」「だから大人に反発することは悪いことではないよ」ということを教えました。「でも約束してほしいことは、大人を目の前にして暴言を吐かないこと」「うるさいな、面倒だな、いらいらする。と思うことは大事。でも自分のやるべきこと、決めたことはやりとげよう」「できていることまで、意地でやらないのは自分が損をするよ」と私の経験を踏まえて伝えました。

一度言うてできることではありません。しかし、子どもたちを信じて言い続けることは大事です。

反抗期の子どもたちを温かく見守り育てていきたいと思います。

今が多感な中学生。今なら何でも吸収でき、何でも学べ、何でもできる。がんばれ反抗期。

お正月行事・大黒天

主任指導員 富沢正樹

1月2日に年末年始に帰省せず、園で過ごしている子たちとお正月行事に出かけてきました。

出発前に、円福寺大黒天に行き、みんなでお参りしました。普段、朝・夕のお参りが日課となっている子供たちは、きちんと手を合わせて、大黒尊天を拝むようにお参りをしており、子供たちの純粋さを感じました。

今年のお正月行事はみんなで、まずラウンドワンに行き、思い切り体を動かしました。バドミントンやバスケットボールなど様々な種目を楽しむ中で、バッティングマシーンでは男の子たちだけでなく、中学に入ってソフトボールを始めた中1のIさんも日頃の成果を発揮して、上手にボールを打ち返していました。ビリヤードやセグウェイなど、普段なかなか体験できないモノもあり、3時間、目一杯遊んだ子供たちはとても楽しそうにしていました。

その後は、善光寺にお参りに行きました。雪が吹雪いている中、大勢の参拝客で行列ができていましたが、みんなしっかり並んで、横田神社、円福寺に続いて3回目のお参りができました。

たくさん遊んで、お参りして、お腹がペコペコになった所で、夕飯は食べ放題のお店に行き、存分に食事を楽しみました。

(平成31年2月10日発行 月刊「円福」461号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

みんなの顔を見ていると大満足だったようです。今後も、いつも感謝の気持ちを忘れずに、日々の生活を大切にできるようにサポートしていきたいと思っています。

『お正月行事・大黒天』

まごころ保育士 竹内早季

今年の年末年始を子どもたちと過ごすことができました。大晦日から元旦はまごころの女の子たちと一緒に食事作りをして、大変ではありましたがみんなが積極的に動いてくれてとても助かりました。そして、1月2日は大黒天のお祭りが円福寺で行われていたので、子供たちと一緒にお参りに行きました。お寺につくと、朝早くからたくさんの方が準備をしており、「あけましておめでとうございます！」とお互いに元気良く挨拶することができ、気持ちがよかったです。そして、みんなが本堂に入り、般若心経を唱えました。いつもより少ない人数でのお参りでしたがとてもよく声が出ていました。そして、大黒天でお参りをした後、お正月行事としてラウンドワンと善光寺に初詣に行きました。子供たちとバドミントンやトランポリンなど様々なスポーツを楽しむことができました。なかなか普段一緒に運動する機会がなかった子もいて、みんな大はしゃぎでした。たくさん遊んだ後は、善光寺に行きました。かなりの人込みで本堂に入る参拝客の入場規制がされていて驚きました。みんなで並んで、今年一年の目標や願いをそれぞれお参りすることができました。みんなで年始を穏やかに楽しく過ごすことができよかったです。

しめ縄集め・どんど焼き行事

まごころ 渡邊梓



1月14日に西横田地区のしめ縄集めとどんど焼き行事がありました。この日は朝から地区の小学生全員で正月飾りやしめ縄、だるまさんを回収しに地区の中を歩いて回ります。園の小学生も昨年の12月に自分で作ったしめ縄を持ち、しめ縄集めに出かけていきました。PTAの役員さんの後に続いて小学生は列になり、軽トラックとともに回っていきます。低学年も高学年もみんなで協力したおかげで、すぐにしめ縄が集まりました。

一方、土手では地区の方がどんど焼きの準備をしてくださいました。今年にしめ縄やだるまさんを

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

小学生が飾れるように、地区の方が櫓の土台を作って、待っていてくださいました。しめ縄集めが終わった小学生は、土手に集まり思い思いに櫓の飾りつけをしました。

夕方には一人ひとりお餅をつけた竿を持ってどんど焼きに向います。櫓に火がついていっきに燃え上がっていきました。子どもたちも自分でお餅を焼いて一年の成長や健康を祈って美味しく食べました。今年一年も元気に楽しく過ごせるといいなと思います。

エキサイティングスノーバトル

あおぞら 倉島 誠

1月26日に飯綱高原で開催された第16回長野県雪合戦選手権大会に愛育園少年野球チームで参加してきました。小学生の参加は今年初めての試みで、雪合戦競技自体初めての子ども達。最初はルールを覚えたり、上手にできなかつたりと悪戦苦闘していました。しかし、参加経験のある中高生にも手伝ってもらい、練習を積み重ねていくうちにみるみると上達していきました。子ども達の覚えの速さと一生懸命さにとっても驚かされました。迎えた当日は、雪が降りしきる中、自分たちよりも一回りも大きい六年生を相手に、キャプテンのY君を中心に、練習の成果を十分に発揮してくれました。最年少の小学2年生のS君も勇気を出して前に出てプレーをし、その姿に自然と周りの観客も応援してくれました。会場を巻き込みプレーをする子ども達の姿は、勝ち負けよりも誇らしく思いました。結果は、準優勝。参加チームが少なかったこともありますが、この結果が子ども達の自信や成長に繋がればなと思います。出場するにあたり、子ども達には「勝ち負けではない、ただ純粋に雪とふれあい、楽しんでやりなさい」と伝えました。子ども達にとって、“冬の楽しいスポーツがある。”ということを感じてくれたらいいなと思います。大会後、5年生のS君が私の所に来て、「楽しかった！来年はもっと頑張る」と言ってきました。普段の生活で雪玉を人に向けて投げて欲しくないですが、このやる気を無駄にせず、また来年も頑張ろうと思えました。協力してくれた皆様、ありがとうございました。



(平成31年2月10日発行 月刊「円福」461号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

エキサイティングスノーバトル

まごころホーム 橋本 雅

1月26日に、飯綱にて小学生のエキサイティングスノーバトルが行われました。

2週間前から練習に励み、まずルールを覚えました。ルールが沢山あり苦戦しながらも覚えることができました。中高生や職員に協力して頂き実践練習を積み重ねました。練習していく中で一人一人の役割は何かを考え、攻める人、守る人、玉を運ぶ人それぞれが役割をもって練習しました。前の人になかなか玉を届けることができず攻めることができず攻められましたが、練習を重ねるごとに上達し前の人に玉を届けることができ、攻めていけるようになりました。また、チームで作戦を立てながら協力して取り組みました。前日の練習後には、「明日、勝とうね」など、楽しみな様子で意気込んでいる姿がありました。

大会当日、ルールを確認し練習した後、試合が始まりました。緊張していましたが、試合の雰囲気慣れてくると練習してきたことが発揮できとてもいい試合でした。結果は2-1で負けてしまいましたが、それ以上に仲間と協力することの大切さを学ぶ事ができました。また、夢中になって全力で戦っている子ども達の姿はとても輝いていました。

今回の行事で学んだことを生かして日々頑張ってください。



箸ピー大会

あおぞらホーム 近藤誠志郎

1月19日(土)に愛育園の体育館で『第9回箸ピー大会』が開催されました。今年は愛育園の子どもたち、国際箸学会の方々、小学校・中学校の先生方に加え、少年野球チームで円福杯野球大会にも参加していただいた八幡スポーツ少年団も参加していただき、昨年よりもより大人数での大会となりました。個人戦ではそれぞれ好記録を目指して箸を動かす姿がありましたが、やはり愛育園の子どもたちの記録が素晴らしく、上位8人が進むことができる「キング決定戦」には愛育園の子どもたち8人が選ばれました。その中には毎日の練習で300個を超える高記録を出していた中学2年生のK君、小学6年生のSさん、中学2年生のHさん、そして昨年の箸ピー大会で優勝しキングとなった小学5年生のY君と上位を争うと予想された面々がそろっていました。キング決定戦がス



ターゲットしました。それまでの個人戦とは違った独特の緊張感の中、8人が黙々と箸を動かしてピーナッツを移動させます。中にはピーナッツを落としてしまう子もいましたが、最後まで諦めることなく競技を続けました。キング決定戦の集計を行っている間には団体戦が行われました。団体戦では、参加していただいた方々全員を交えての大規模なものになります。4チームに分かれ、競技が開始されました。それぞれのチームが応援をし、

この日一番の盛り上がりとなりました。閉会式では、それぞれの部門での上位が表彰されていきます。今年のキングは中学2年生のHさんでした。今年も子どもたちの集中力のすばらしさを感じることとなりました。来年も10回目の大会が盛大に開催できるようにしていきたいと思います。

第9回箸ピー大会

まごころホーム 保育士 加藤ゆかり

1月19日に毎年恒例の箸ピー大会が行われました。今年は1か月以上前から練習を始めました。子ども達はとても嬉しそうに練習に取り組んでいました。始めはやはり感覚を取り戻すまで大変そうでしたが、感覚を取り戻してからはどんどん記録を伸ばしていきました。小学生も、中学生に負けないくらいの自己ベスト記録を出していて、本当に驚きました。

当日は園の児童の他にも、国際箸学会の方を始め、八幡少年野球チームの子達10人、地区の方や、学校の先生方が来てくださいました。やはり練習の雰囲気とは違い、緊張感のある雰囲気の中、競技は行われました。園の子ども達は、練習の成果を発揮しよう、自己ベストを更新したい、など様々な思いを持ちながら、真剣な眼差しで競技に取り組んでいました。決勝戦は、常連メンバーを始め、小学生も出場しており、最後まで結果が分からない展開となりました。決勝戦も更に張り詰めた空気の中、行われました。その緊張感の中、箸ピーキングを勝ち取ったのは、中学生のHさんでした。他のメンバ



一は悔しそうでしたが、初めて決勝戦に出られた子もいて、やり切った表情をしていました。

今年の箸ピー大会もとても盛り上がりました。2月2日には箸オリンピックもあるので、選手に選ばれた児童は頑張ってきてほしいな、と思います。

箸ピー大会 児童感想文

中学1年生 H. A君

一月十九日に箸ピー大会が開催されました。ぼくの心は開会式から緊張していました。しかし、学校の先生、地域の方などがきてよりいっそうがんばろうと思いました。そして、一回目ぼくの番がきました。一回目右が一回床におとしてしまいました。しかしその後ねばって百四十九個。ぼくには納得がいかなかったのですが、左でまきかえそうという思いでしたが合計二百三十五ぐらいですごく悔しかったです。そしてキング決定戦にでたのですがキングにはなれず悔しい結果でしたが、しっかりとがんばって次は、いい記録がでるようにしたいです。

小学5年生 Y. Y君

1月19日にはしピー大会がありました。最初に、個人戦をやりました。1回目の記録は、261個でした。でも2回目は、294個で、1位でキング決定戦にすすみました。キング決定戦は、1回だけでやります。右手の記録は、177個でした。左手は、111個でした。団体戦は、アンカーをたのまれました。キング決定戦の1位は、Hちゃんでした。来年はゆうしょうしたいです。

小学5年生 S. T君

1月19日、まちにまったはしピー大会で、毎日のれんしゅうのせいかを見せようと思ってはじまりました。個人戦、キングけってい戦、団体戦の3つ種目をやりました。団体戦ではがんばってみんなできょうりよくして、みごと2位になりました。1位になりたかったけどよかったです。そして全部の種目がおわったあと、おかしやジュースをのんで楽しくわらってあそんだりもして、本当に楽しい土曜日になりました。

箸ピー大会をやりました。最初は右手からやって、今度は左手で、全部で173個でした。2回目は、右手が105個で、左手が60個で、合わせて174個で1個しか増えなくて悔しかったけど、団体戦で一生懸命やりました。優勝は出来なかったけど頑張りました。楽しかったです。

(小2 K・F)

箸ピー大会がありました。今年、私は選手宣誓をやりました。前の日からやることを言われていました。やる前はとても緊張していて、他の方のお話がある時も、選手宣誓の言葉を心の中で唱えていました。本番、かまずに言うことが出来てとても嬉しかったです。個人戦は、ベスト記録まであ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

と少しだったし、キング決定戦もあと2人追い抜けば出られました。どれも中途半端でとても悔しかったです。でも、団体戦でとても気が晴れたので良かったです。とても楽しい時間になりました。

(小6 M・M)

1月19日に第9回箸ピー大会がありました。私は箸ピー大会で悔しかったことがあります。個人戦であまり良い結果が残せなかったことです。1回目と2回目は少し焦ってしまい、豆をたくさん落としてしまいました。なので、キング決定戦の上位8人に選ばれるか不安でした。でも3位でした。キング決定戦では、右手が176個でした。左手では、豆を床に落としてしまいました。でも最後まで頑張り、記録は100個でした。少し悔しかったです。表彰式では、私は小学生の部2位でした。箸ピーキングになれなくてとても悔しかったです。来年は箸ピーキングになれるように頑張りたいです。

(小6 S・Y)

今日は、第9回箸ピー大会が行われました。去年は部活で参加できなくて、Yくんがキングだったので少し焦っていました。でも、私は負けず嫌いなので、その思いを箸にぶつけて頑張りました。右手の調子は良かったのですが、左手では焦って床に落としてしまったので、次は失敗しないように落ち着いてやりました。すると、82個から111個になり、すごく嬉しかったです。右手は186個、左手は111個、合計297個でした。その後、一気に緊張感が抜けました。表彰式では、中学生の部で2位だったので、今年全然練習に出れなかったから無理かな、と思っていましたが、「記録297個、Hさんです！」と言われた時、とても嬉しかったです！来年も連覇出来るように頑張りたいです。

(中2 H・W)

あおぞらホーム日より

あおぞらホーム 石龍成己

新年になりました。まだまだ寒い日が続いております。積雪のある日も多く、その度に中高生たちは早起きし雪かきを手伝ってくれ、小学生たちは雪遊びをしています。特に中高生たちは、雪の降りそうな日になると、「明日雪降りますかね。」と職員に声を掛けてくれ、とてもやる気満々です。早い日は朝5時に起きてくれ、施設の前だけでなく、隣の幼稚園に続く道路の方まで頑張ってくれています。一番すごいと思う事は、まだ外も明るくなく、とても寒い中作業をしているのに、一言も後ろ向きな発言が出ない事です。普段の生活の中では多少なり後ろ向きな発言も出ます。しかし、もう生活として身につけているのか、全く出ません。他の同世代の子と比べても、とても誇って良い一面だと一緒に生活していると思います。

寒さの話をしてしまいましたが、体調を崩してしまう子が少し始まっています。職員間でも、衛生管理のレクチャーを行ったり、体調不良者に備えています。その中でも、小学生は体調不良者もいなく、

(平成31年2月10日発行 月刊「円福」461号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

元気に過ごしています。4、5年生では学校でスキー教室が行われました。A君は、今回初スキーになり、前日までとても緊張していましたが、1日で滑れるようになり、来年からは中級でいいねとインストラクターから言われたらしく、とても嬉しそうにしていました。2月には園でもスキー教室を予定していますので、A君の滑りには期待したいと思います。

寒さの話ばかりになってしまいましたが、体調には気を付けて、健康第一にみんなが過ごせるよう今月も務めていきたいと思っています。

まごころホーム日より

まごころホーム保育士 有賀真知

新年が明けて早くも1ヵ月が経ちました。子どもたちは寒い日が続く中、毎日元気に登校しています。小学生は学校のスキー教室に参加したり、飯綱で行われたエキサイティングスノーバトルに少年野球のチームで参加するために日々体育館で練習をしたりと、寒さに負けずたくさん体を動かしていました。中学3年生は受験まで残り数日となり、ラストスパートをかけて、休日は朝から晩まで勉強に励んでいます。高校生は冬休み明けにテストがあり、丁寧にテスト直しに取り組み、自身の苦手な分野を克服できるように頑張っています。また、アルバイトや教習で毎日クタクタになるまで頑張っている子どももいます。

まごころホームでは1月下旬からインフルエンザが流行りだし、数名に感染しています。高校受験を控える子どももいるので、これ以上感染が拡大しないように、ホーム全体で徹底的に予防を行っていくよう努めたいと思います。

今年度も残すところあと2ヵ月となりました。1年間の日々の生活や学校の学習などを見直し、晴れやかな気持ちで進級できるように過ごして欲しいです。

調理室日より

調理員 加藤 のぶ子

一年で一番 “ はれの日 ” とされるお正月。一年の中で最も和が似合う月。その中でも松の内おめでたさを感じる水引きは紅白に染め分けられ、結び切りは一度だけのお祝いに蝶結びは繰り返すお祝いになどと日本人らしくて素敵ですね。

元日 お雑煮 おせち

1月7日☆七草がゆ☆

七草は越年草で冬を越すことが出来る草を食べ無痛を願う風習で健やかな一年を願って朝食をいただきました。

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(平成 31 年 2 月 10 日発行 月刊「円福」461 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

1 月 1 3 日☆手作りおしるこ☆

お寺から下げて頂いた鏡餅を割り、箸ピー練習のあと 3 時のおやつになりました。

1 月 2 6 日 理事長先生 瑞宝小綬章受章祝賀会

釜揚げうどん、天ぷら、茶碗蒸し、フルーツの盛り合わせ。子供達より花束の贈呈がありそのあと大切な事として

- ・本気で一生懸命やる事
- ・目の前の事から逃げない
- ・やる事、やる姿を見せる事

こうした日常の積み重ねが後に花開く事に繋がるとお話して頂きました。

食事をしながら暖かく穏やかな時間を過ごしました。

◆第 9 回箸び一大会が開催され、国際箸学会の皆様、西横田区の皆様、学校の先生方、八幡スポーツ少年団の皆様の参加と盛大に盛り上げていただき成功に終わりました。ありがとうございました。



理事長先生（左）、国際箸学会会長の小宮山様の一騎打ち



西横田区長さん、優勝目指してお豆を運びます



先生方もオープニングを盛り上げていただきました



箸び一大会の一番。団体戦では、チームの力を結集して、お豆を運びます。大変盛り上がりました。どのチームも真剣に応援する姿が素晴らしかったです。



参加者全員で記念撮影。大成功！！